

自然と人が調和する
じゃばらと筏の里・北山
全国唯一の飛び地のむら

KITAYAMAMURA

北山村

長期総合計画

令和3年3月

第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】

KITAYAMAMURA



北山村の概況

位置と地勢

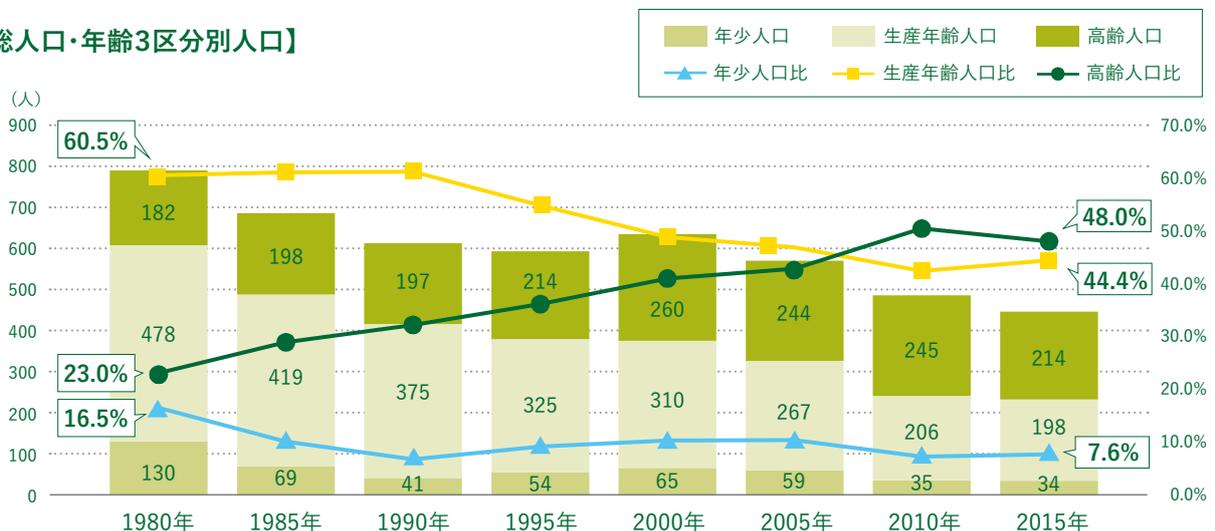
本村は紀伊半島の中央部に位置し、南は三重県、北は奈良県に囲まれた東西20km、南北8kmで、和歌山県でありながら和歌山県のどの市町村とも隣接しない全国でも唯一の飛び地の村です。村の97%を山林が占め、すぐそばを北山川が悠々と流れる自然豊かな人口430人程度の小さな村です。



人口推移

本村の総人口の推移をみると、昭和55（1980）年の790人から平成7（1995）年に593人と15年間で197人減少しています。平成7（1995）年から平成12（2000）年にかけて42人増加しましたが、その後は減少しています。

【総人口・年齢3区分別人口】



出典：総務省「国勢調査」

北山村の人口ビジョンを達成するための 基本目標概況

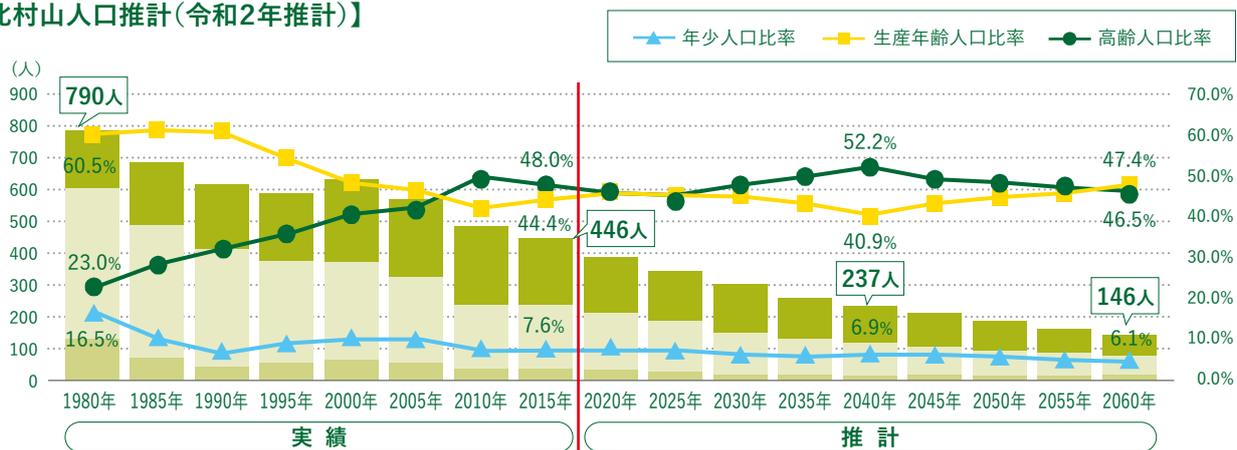
国の政策“5原則”及び“4つの基本目標”と“地方創生・三本の矢”、第2期総合戦略における“新たな視点”、“横断的な目標”に基づき、まち・ひと・しごとの一体的な創生を図っていくために、本村の地域経済・社会の実態に関する分析をしっかりと行い、「北山村人口ビジョン」を基にして、第2期総合戦略を策定し目標を設定します。

1 重要業績評価指標(KPI)を重視した目標設定

国の第2期総合戦略では、政策の「基本目標」を明確に設定し、それに基づく適切な施策を内容とする「政策パッケージ」を提示するとともに、政策の進捗状況について重要業績評価指標(KPI)で検証し、改善する仕組み(PDCAサイクル)を確立しています。

本村においても「北山村人口ビジョン」が示す人口・経済の中長期展望を踏まえ、実現すべき重要業績評価指標(KPI)を重視した数値目標を設定します。

【北山村人口推計(令和2年推計)】



2 北山村人口ビジョンが示す中長期展望

人口減少に歯止めをかける

生産年齢人口の層と幅を増やすために、元気な高齢者にも様々な行事に参加してもらい、北山村の持つ魅力に磨きをかけます。また、若者が集い、生き生きと生活ができ、若者の活力を生かせる仕事の創造と、現状では足りていない仕事分野を開拓し、さらに子育ても含めて、各々が孤立しないよう人と人のつながりを強くして、次の世代へとつなげていきます。

若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する生活環境の整備

人口減少を克服し、将来にわたり安定した人口を維持していくため、社会移動(転入・転出)を均衡させます。また、切れ目のない支援により、村民が安心して働き、若者が希望どおり結婚して妊娠、出産、子育てができ、有用な人材を育成できる社会環境を実現します。

安全・安心な暮らしやすいまちづくり

人口減少・少子高齢社会を迎える中、活力あるまちであり続けるため、地域が直面する課題を解決し、村民が将来にわたって安全・安心で、健康的に暮らしやすいまちを実現します。

長期総合計画と第2期まち・ひと・しごと 総合戦略 実施計画

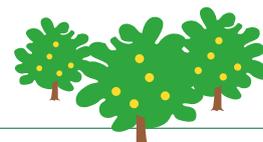
長期総合計画における「基本計画」に示された主要事業の具体的な実施内容を明らかにし、本村における毎年度の予算編成・組織機構・人事計画などの運営方針となるものです。

「基本計画」に掲げられた事業の実効性を担保するため、財政計画との整合性を図りながら、具体的な事業内容・財源・実施時期などを示します。

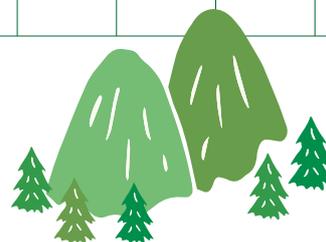
計画期間は3年間とし、毎年度の事業の評価・検証を行いながら見直しをするローリング方式とします。

第2期総合戦略の計画期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とします。

長期総合計画

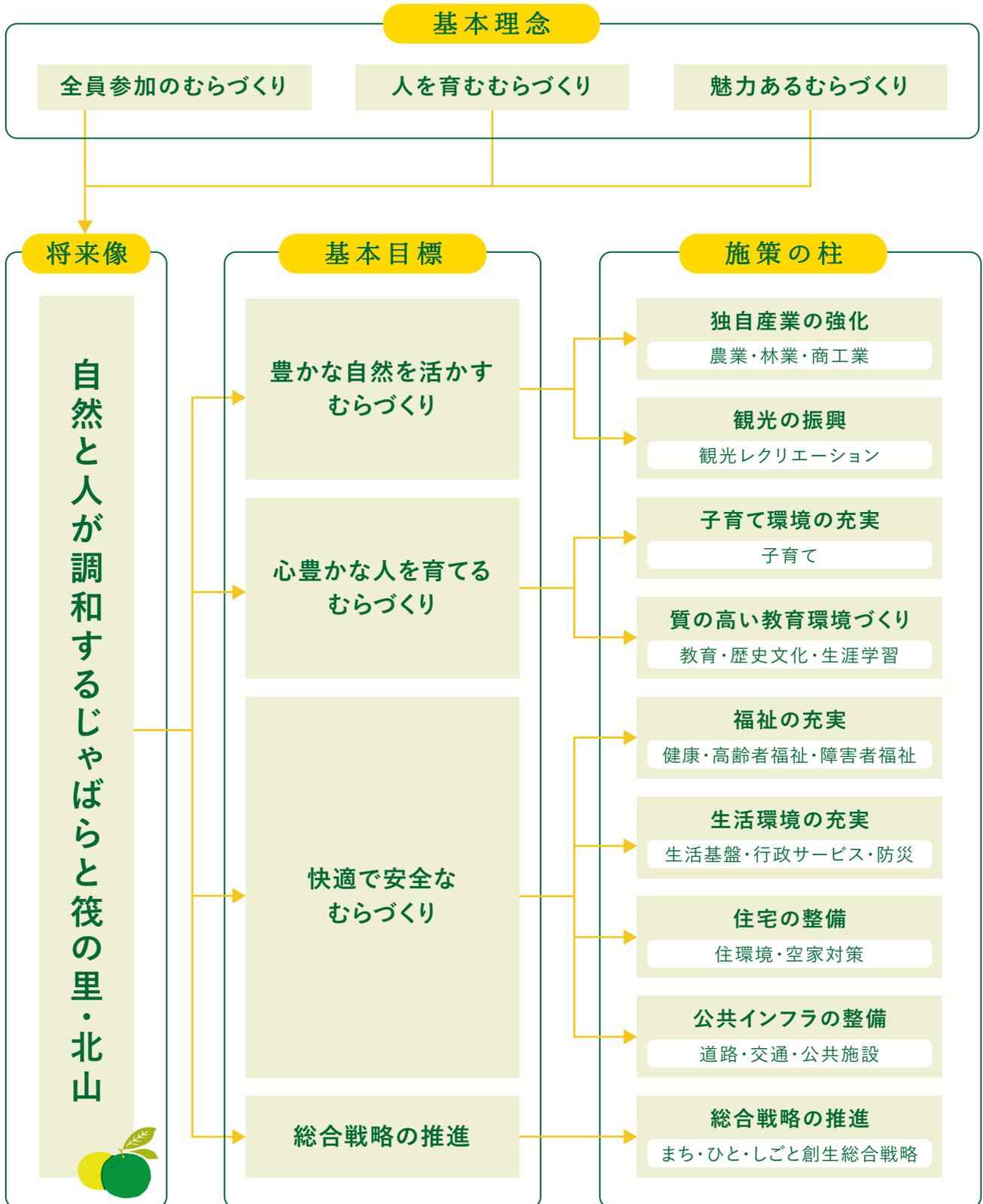


第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略



長期総合計画 施策の体系

施策の体系は4つの基本目標と9つの施策の柱で構成します。



長期総合計画 施策一覧



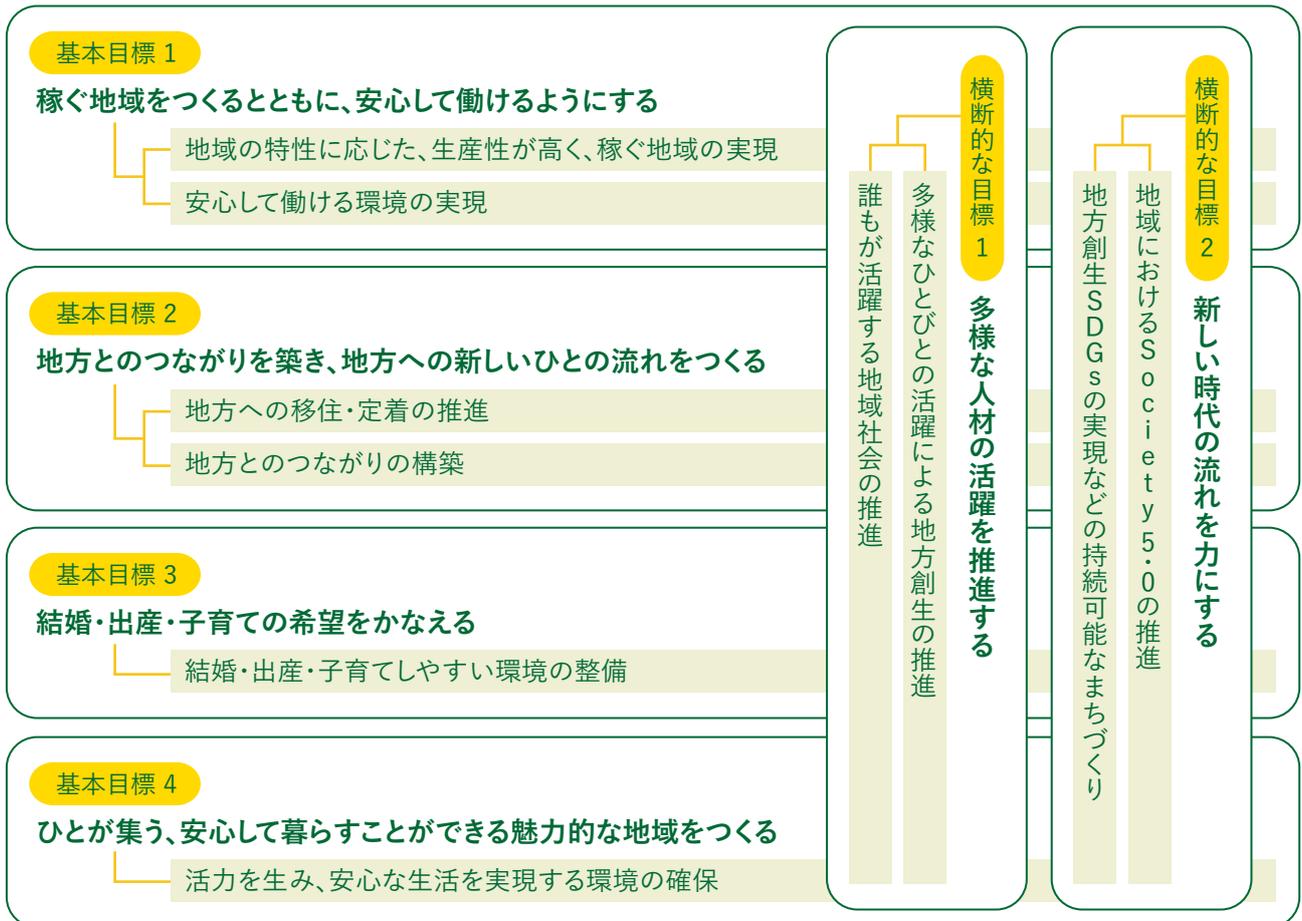
基本目標	施策の柱	主な施策
基本目標 1 豊かな自然を活かす むらづくり	1. 独自産業の強化	1. じゃばら生産・加工・販売の拡大 2. じゃばら農家・筏師の育成 
	2. 観光の振興	1. 観光拠点の整備と美化
		2. 観光に関する事業者(移住者を増やすための開発)の確保
		3. 冬季観光の魅力発掘
基本目標 2 心豊かな人を育てる むらづくり	3. 子育て環境の充実	1. 保育園から小学校・中学校一貫教育の継続
		2. 国際理解教育の継続と充実
		3. ICTを活用した情報教育の充実
		4. 生涯教育の充実
	4. 質の高い 教育環境づくり	1. 小学校・中学校一貫教育の継続
		2. 英語教育の継続
		3. 学習環境(図書館等)の充実
	基本目標 3 快適で安全な むらづくり	5. 福祉の充実
2. 近隣自治体との連携		
6. 生活環境の充実		1. 買物支援
		2. 公共交通
		3. 老朽空家対策
		4. 緊急通報装置の見直し
		5. 地域情報ネットワークの整備
		6. 公園、街並整備
		7. 鳥獣被害対策
		8. 消防、防災
7. 住宅の整備		1. 移住・定住促進対策
		2. 村営住宅の整備とあり方
		3. 住宅整備と老朽化対策
8. 公共インフラの整備		1. 基盤整備事業と森林整備事業
		2. 公共施設の維持管理、道路・トンネル・橋梁の整備
		3. SS対策で備蓄装備
基本目標 4 総合戦略の推進	9. 総合戦略の推進	1. 移住定住施策の充実
		2. 空家の管理
		3. 仕事の確保
		4. 人材の育成



第2期 まちひとしごと創生総合戦略 国が示す4つの「基本目標」と北山村の「基本目標」

1 国の4つの「基本目標」

国の第2期総合戦略では、将来にわたって、「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正をとともにめざすため、第1期総合戦略の成果と課題等を踏まえて、施策体系を見直し、次の4つの基本目標と2つの横断的な目標を設定しています。



2 北山村の5つの「基本目標」

本村の第2期総合戦略においては、国の基本目標を勘案し、村の実情に合わせた基本目標を次のとおり設定します。

北山村は、今後も恵まれた環境の魅力等により発展し、人口が自然増・社会増となる施策を実施していきます。第2期総合戦略においては、国の総合戦略の「基本目標」や和歌山県の総合戦略の「重視すべき視点」を踏まえるとともに、地方創生における新たな視点として追加された「SDGs (エス ディー ジーズ)」、「Society 5.0 (ソサエティ5.0)」、「民間との連携」、「多文化共生」、「インバウンド」などにも状況に応じて適切に対応し、「めざすべき将来の方向」に基づいて5つの基本目標を掲げます。

- 基本目標 1**
親子がのびのび暮らせる子育て・教育環境づくり
- 基本目標 2**
つながり・コミュニティづくり
- 基本目標 3**
裾野を広げる情報発信
- 基本目標 4**
村を支える仕事づくり
- 基本目標 5**
安全・安心な暮らしづくり

第2期 まちひとしごと創生総合戦略 基本目標ごとの施策

国の第2期総合戦略に盛り込まれた4つの基本目標（「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」）と2つの横断的な目標（「多様な人材の活躍を推進する」「新しい時代の流れを力にする」）を勘案し、それぞれの分野において、次の5つの基本目標、施策体系のもと、第1期総合戦略から切れ目のない取り組みを行います。

施策体系

北山村の将来展望

基本目標1 親子がのびのび暮らせる子育て・教育環境づくり

施策

- (1) 妊娠・出産・子育て支援の強化
- (2) 質の高い教育環境づくり
- (3) 村で学ぶ・生涯学習

基本目標2 つながり・コミュニティづくり

施策

- (1) コミュニティの活性化

基本目標3 裾野を広げる情報発信

施策

- (1) 村を伝えるプロモーション
- (2) 移住定住の促進

基本目標4 村を支える仕事づくり

施策

- (1) 独自産業の強化
- (2) 観光の振興
- (3) 新たな仕事づくり
- (4) 仕事の情報発信

基本目標5 安全・安心な暮らしづくり

施策

- (1) 豊かな住環境
- (2) 安全・安心な暮らしの実現

北山村役場